

キューピットハウスだより NO.13

2024年が始まりました！

あけましておめでとうございます。

年末年始はどのように過ごされましたか？

生活のリズムや体調を崩しやすくなる時期です。

今年も元気に過ごせるように、食事・運動・睡眠のバランスを大切にいきましょう。

キューピットハウスでは、今までと変わらず、感染対策・安全管理に努めて参りたいと思います。

2024年が皆様にとって、笑顔の多い1年となりますように。

本年もよろしくお願いいたします。

キューピットハウス感染状況

昨年より、溶連菌感染症・アデノウイルス感染症・インフルエンザが流行っています。

アデノウイルス感染症と溶連菌感染症の同時感染するお子さんも少なくありません。

特に溶連菌感染症は、現在も全国的に流行っています。

溶連菌感染症に感染すると、2～5日の潜伏期間を経て

- ・発熱(38～39℃)
- ・のどの痛み
- ・発疹(体や手足に紅く小さいブツブツ)
- ・イチゴ舌

等の症状が現れます。

溶連菌感染症に罹ると、咽頭痛等から食欲が落ちることがあります。熱い・酸っぱい・辛いといった、のどに刺激があるものは避けて、のどごしがよく消化がよいもの(ゼリー・ヨーグルト・おかゆ・うどん・豆腐など)を食べましょう。

登園の目安は、適正な抗生剤治療開始後、24時間を経て全身状態がよければ登園可能とされています。

ウイルス性感染症と細菌感染症

保護者の方からウイルス性と細菌性の違いって何？と聞かれることがあります。
下記に必要な情報を簡単に記していますので参考にしてくださいね。

ウイルス性の主な病気 水痘・手足口病・プール熱・ヘルパンギーナなど
治療は主に対症療法が中心とされています。

対症療法とは、病気の原因を取り除くのではなく、症状に対しての治療を行うことです。
辛い症状を和らげるお薬を使用します。例えば、咳を鎮める・痰をだしやすくする・熱を下げる
などです。

細菌性の主な病気 溶連菌感染症・とびひ・百日咳など

治療は、抗生物質が有効です。

抗生物質は、細菌をやっつけるお薬です。ウイルスには効果がありません。

抗生剤を処方されたら、飲み方・飲む時間・内服日数などを守り飲み切りましょう。

ご協力お願いします



現在、キャンセル待ち数の増加や人数制限のため、なかなか利用できないお子様が多く
大変ご迷惑をおかけしています。

キューピットハウスではキャンセルがでると、すぐに次の方に電話連絡をしております。
予約後に、体調がよくなり登園・登校できるようになった、他施設が利用できるようになった
のでそちらへ行くことにした、お家で過ごせるようになった等の場合は、キャンセルの電話を
お願いいたします。

1人でも多くの方が利用できるようご協力をお願いいたします。

【問い合わせ先】

細木病院 キューピットハウス

電話番号 088-822-7211(病院代表)

開設時間 月～土 8:00～18:00(日・祝はお休みです)